

安曇野ふるさと寄附金 令和4年度活用事業報告



(長峰山から北アルプスを望む)

安曇野ふるさと寄附金を活用して
令和4年度に実施した事業の概要をお知らせします。
多くの皆さまからの温かいご寄附に感謝申し上げます。

令和4年度は、安曇野ふるさと寄附金として **5,709 件 585,874,900 円**の
ご寄附をいただき感謝申し上げます。寄附者の皆さまのご意向に沿って大切に活用させていただきます。



募集テーマ別	件数	寄附金額
1 豊かな人を育むまちづくり	1,173 件	71,890,000 円
2 防災力・減災力の強化に向けたまちづくり	417 件	28,610,000 円
3 出産・子育て環境が充実したまちづくり	1,514 件	154,180,000 円
4 活力に満ちた産業があるまちづくり	698 件	60,102,900 円
5 健康長寿のまちづくり	474 件	127,370,000 円
6 市長が選定した施策に活用	1,433 件	143,722,000 円
合計	5,709 件	585,874,900 円

たくさんの応援メッセージありがとうございます！ほんの一部ですがご紹介します。

- ★生まれ育った安曇野市、これからも頑張ってください。
- ★年越し蕎麦は安曇野に決めています。ワサビもあり美味しくいただいています。
- ★豊かな自然と温かい人の安曇野市が大好きです。またお蕎麦食べに行きたいです
- ★りんご大好きです。応援しています！
- ★北アルプスを訪れるたび、安曇野市に立ち寄ります。これからもよい街でありますよう、応援します！
- ★安曇野ハーフマラソンに出場しました。自然環境や人の気質が良い市なので、発展を期待しています。
- ★四季折々の自然の美しさと、美味しい食べ物が魅力的な安曇野が大好きです。



あぶふーる

令和4年度活用事業のご紹介

令和4年度に安曇野ふるさと寄附金を活用した事業を紹介します。

安曇野市では、6つのテーマから寄附者が希望されたテーマに沿って、各種事業に寄附金を活用しています。また、平成27年に「安曇野市ふるさと寄附基金条例」を制定し、寄附金の一部は基金に積み立てたうえで、募集テーマに沿った事業に活用しています。



そばっぴ

自転車を活用したまちづくり



自然を活用したマウンテンバイクコース

安曇野市では、市の特徴を活かした自転車活用の推進を図るため、マウンテンバイクコースとサイクリングコースを整備しました。マウンテンバイクコースには、より多くの方々に施設を利用していただくための洗車場を備えた駐車場を整備し、オープン記念イベントを開催し、多くの方に来場いただきました。今後も安全に施設運営を行っていきます。サイクリングコースの整備に合わせてA、Bコースのマップを作成し、コース上の情報発信を行いました。

ポスターリニューアルで観光プロモーション

安曇野市の認知度向上及び観光誘客、交流人口の拡大につなげるため、高速バスへのラッピングや動画・WEBを活用した情報発信のほか、総合観光パンフレットとポスターをリニューアルしました。（ポスターは7年ぶり、パンフレットは5年ぶりのリニューアル）今後も、さまざまな媒体を使いニーズにあった誘客を行っていき、安曇野ファン獲得につなげていきます。



リニューアルしたパンフレット・ポスター

第9回信州安曇野ハーフマラソン開催



3年ぶりにランナーが安曇野を走る

大会を通じて参加者、市民、来訪者が交流を深めることで交流人口の拡大を図るとともに、スポーツによる地域振興を目指して、毎年6月にマラソン大会を開催しています。コロナ過により大会を3年ぶりに開催し、大会当日は天候にも恵まれて、県内外から参加した5,759人が初夏の安曇野を駆け抜けました。

子育て世帯の経済的負担を軽減のため、給付金を支給

2子以降の児童を教育・保育施設を利用せずに家庭で保育している養育者に対して、子どもの消耗品などの購入に充てることにより、経済的負担の軽減を図るため、子ども一人あたり月額3,000円の子育て応援手当を支給しました。



事業案内チラシ（一部抜粋）

国際的視野およびコミュニケーション能力をもつ人財の育成



外国語指導講師（ALT）との英語授業風景

中学校生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うため、市内全中学校に外国語指導講師（ALT）を配置しています。多くのコミュニケーションの機会を得られるだけでなく、ALT から海外の文化や国際的な視野を学ぶことができました。今後もネイティブな英語に触れることにより、英会話力の向上を図ります。

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

DX を通じて、行政手続きの利便性を向上させることや内部事務の効率化を図ることが自治体にとって喫緊の課題となっています。具体的な改善の取り組みとして、市民課・税務課の窓口にキャッシュレス端末を導入し、支払い方法の拡充を図りました。これにより、クレジットカードや電子マネーで証明書発行手数料の支払いができるようになりました。



窓口に設置したキャッシュレス端末

災害発生時に備えるため、防災用品の購入補助や備蓄品を購入



災害発生直後には、被災地域への流通の停滞が予想されます。そこで、住民の生命を守るため、備蓄計画に基づいて、備蓄品として、食料・飲料水・日用品、資機材等を購入しました。

災害発生直後の流通機能の麻痺に備えて、備蓄体制の充実を図ることができました。

高齢者の生きがいと健康づくり

健康増進や介護予防のために定期的に健康づくりの活動を行う高齢者の自主活動団体を補助し、活力あるまちづくりを促進しました。また、70 歳以上の方や、一定の障がいのある方が外出して心身共に健康に過ごせるよう、市内の入浴施設で利用できる入浴料金割引券を交付しました。今後も、事業を継続し、高齢者の生きがいと健康づくりや、障がい者等の外出支援をしていきます。



アクティブシニアがんばろう事業

農業振興と特産品の玉ねぎ振興



玉ねぎ祭りの様子

安曇野市の基幹産業である農業振興を図るため、市の振興作物である麦・大豆、果樹等の生産を支援し、生産意欲の向上と作付面積の拡大を図りました。また、特産の玉ねぎについては、栽培面積が拡大するとともに、毎年開催している「玉ねぎ祭り」では、参加する消費者から好評を得ており、今後も生産振興が図られるような事業実施を目指します。

他にもこんな事業に活用しました

仕事の創出・企業の支援

起業しやすい環境を整えるとともに、新規起業等に対する支援を行っています。空き店舗等を活用して事業を始める方を対象にした、改修費補助や、テレワーク環境を整える宿泊施設向けの補助を行い事業者支援につなげていきます。また、主要産業である製造業等の基盤強化につなげるため、工場用地取得、工場等設置、生産設備取得、空き工場等の賃借料一部補助などの企業支援を行い、地域産業の後押しをしています。

少子化対策

不妊・不育症治療は長期にわたるため経済的負担が大きいことから、不妊治療を行っている夫婦の経済的な負担軽減のために治療費の一部を助成しました。この事業により、妊娠が成立することで、少子化対策としての成果にもつながっております。

また、感染症の発生及びまん延予防のために、対象者が適切に予防接種が受けれるように接種券を発行しました。また、予防接種法に基づく定期の予防接種以外の任意の予防接種について、妊婦と小児（生後6か月～12歳（小学6年生相当））を対象に市が独自に支援を実施し、安心して出産・子育てができる環境づくりを目指しています。

妊婦・乳児の健康の保持増進のために、健診費用の一部を助成し、妊婦に対しては、基本健診14回分と超音波健診4回分、血液検査5回分を、乳児に対しては、3か月から11か月の間に1回分の補助を行い、経済的負担の軽減をはかりました。少子化対策として今後も各種事業を実施していきます。

有害鳥獣駆除対策

安曇野市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣捕獲や個体数調整・防除業務、ツキノワグマ学習放獣業務、狩猟者確保支援事業を実施しました。様々な対策を行い農作物等被害の軽減に努めています。

インフラ対策

道路推進計画に基づく幹線道路整備で1路線の拡幅工事が完了しました。また、その他に道路拡幅改良5路線、側溝改修3路線、安全施設工2路線の工事が完了し、道路交通の安全安心に努めています。

移住定住の促進

首都圏で移住セミナーや個別相談会を開催し、移住を希望している方々へのサポートを行いました。令和4年の「住民基本台帳人口異動報告（総務省）」による安曇野市の転入超過数は、長野県内1位の583人となりました。今後も「住んでみたい、住み続けたいまち」を目指し、移住希望者のニーズに応じた相談体制、情報発信に努めます。

皆さまからいただいたご寄附は、安曇野市の発展のため、これからも大切に活用させていただきます。

今後とも安曇野市へのご支援をよろしくお願いします。



らいすん



（お問い合わせ先）

安曇野市役所 総務部 総務課 総務係

〒399-8281 長野県安曇野市豊科 6000 番地

TEL 0263-71-2408(直通) FAX 0263-71-5155

E-mail furusato@city.azumino.nagano.jp